



PERFORMANCE CONTROLLER

VCI-380

取扱説明書

P.2~

OWNER'S MANUAL

P.15~

〒154-0023
東京都世田谷区深沢 2-16-15
Web:www.vestax.jp E-Mail:cs@vestax.jp

Head Office
2-16-15 Fukasawa, Setagaya-ku, Tokyo 158-0081, Japan
Web:<http://www.vestax.com>

Vestax Global Support
csg@vestax.jp

Vestax Europe Support
cse@vestax.jp

ごあいさつ

この度は、Vestax VCI-380をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。
本機の性能を最大限に発揮させると共に、末永くご愛用いただくためにも、ご使用前に
この取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

目 次

●ご使用上の注意	2
●安全上の注意	3
●VCI-380 について	4
●本機の特長	4
●付属品	4
●推奨動作環境	4
●各部の名称と機能	5
●セットアップ	7
●故障かな?と思ったら	12
●主な仕様	13
●保証とアフターサービス	14
●MIDI MAP	27

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用してください。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行ってください。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は本機との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないでください。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないでください。

修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談ください。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダー、インプットフェーダー、パッドは、耐久性を超えた使い方（過度なスクラッチプレイでご利用になった場合等）をされると、通常のパーツの耐久期間（1年以上）が1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体（頭の部分）を持って行うようにしてください。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑が掛からないように、特に夜間は音量に十分注意してください。

安全上の注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願いいたします。



警告 この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜く

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないよう注意)が描かれています。

警告



電源プラグを
コンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグを
コンセントから抜く

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- USB機器はUSBケーブルを端子から抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

VCI-380について

VCI-380 は、DJ コントローラーのもつ創造性・可能性を更に広げるべく誕生したパフォーマンスコントローラーです。DJ ソフトウェアは Serato/ITCH に対応。24bit/48kHz の高音質オーディオインターフェイスと、スタンドアロン・オーディオミキサーを内蔵しており、単なるコントローラーとしてだけでなく、あらゆるパフォーマンススタイルにも対応します。

本機の特長

- ・ Serato ITCH に対応した 2 チャンネル USB MIDI コントローラー
- ・ 3 バンド EQ を各チャンネルに搭載した LINE/PHONO 各 2 系統のオーディオミキサー内蔵
- ・ 24bit/48kHz の高解像度・低レイテンシーのビットパーフェクト・オーディオ搭載
- ・ アフタータッチに対応した 2 x 8 のパフォーマンスパッド
- ・ 5 つのパフォーマンスモードを搭載 (HOT CUE、AUTO LOOP、SLICER、ROLL、SAMPLER)
- ・ パフォーマンスパッドによる PAD FX 機能
- ・ ITCH FX コントロール
- ・ リボンコントロール搭載
- ・ ニードルポジションインジケータを搭載した大型 JOG ホイール
- ・ 2 系統のマイク入力 (ボリューム付き)
- ・ バランス XLR 端子を搭載した MASTER OUTPUT と、BOOTH OUTPUT (RCA)
- ・ デジタルクロスフェーダー Vestax CF-X2 へのアップグレードに対応 (別売り)

付属品

- ・ 保証書
- ・ ユーザーカード
- ・ 取扱説明書 (本書)
- ・ USB ケーブル
- ・ アース線
- ・ 電源アダプター (SDC-7 DM)
- ・ オーディオドライバーインストール CD (Windows 用)
- ・ Serato ITCH ダウンロードチケット

推奨動作環境

[Windows]

OS :Windows 7(SP1 32bit/64bit)
CPU :Intel Core Duo 以上
RAM :2.0GB 以上
USB2.0 ポート
CD-ROM ドライブ

[Macintosh]

OS :Mac OS X 10.6/10.7
CPU :Intel Core Duo 以上
RAM :2.0GB 以上
USB2.0 ポート
CD-ROM ドライブ

※Intel Celeron、ATOM、及び AMD 製 CPU はサポートしておりません。

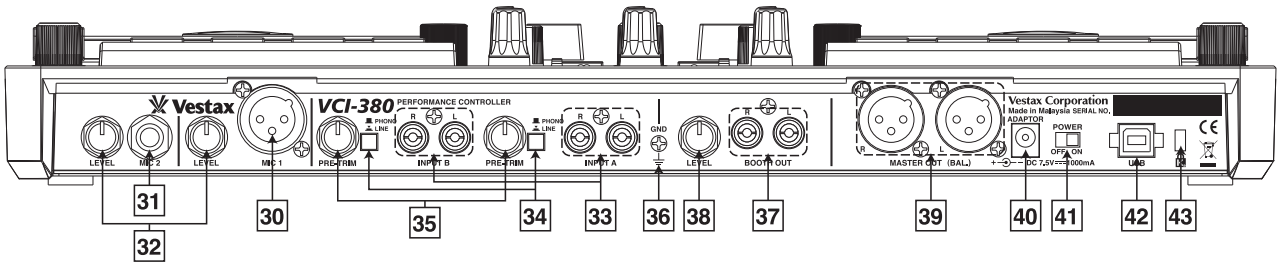
上記条件を満たしていても、すべてのコンピュータ及びデバイスでの動作を保証するものではありません。

※USB1.1 ポートでは正常に動作いたしません

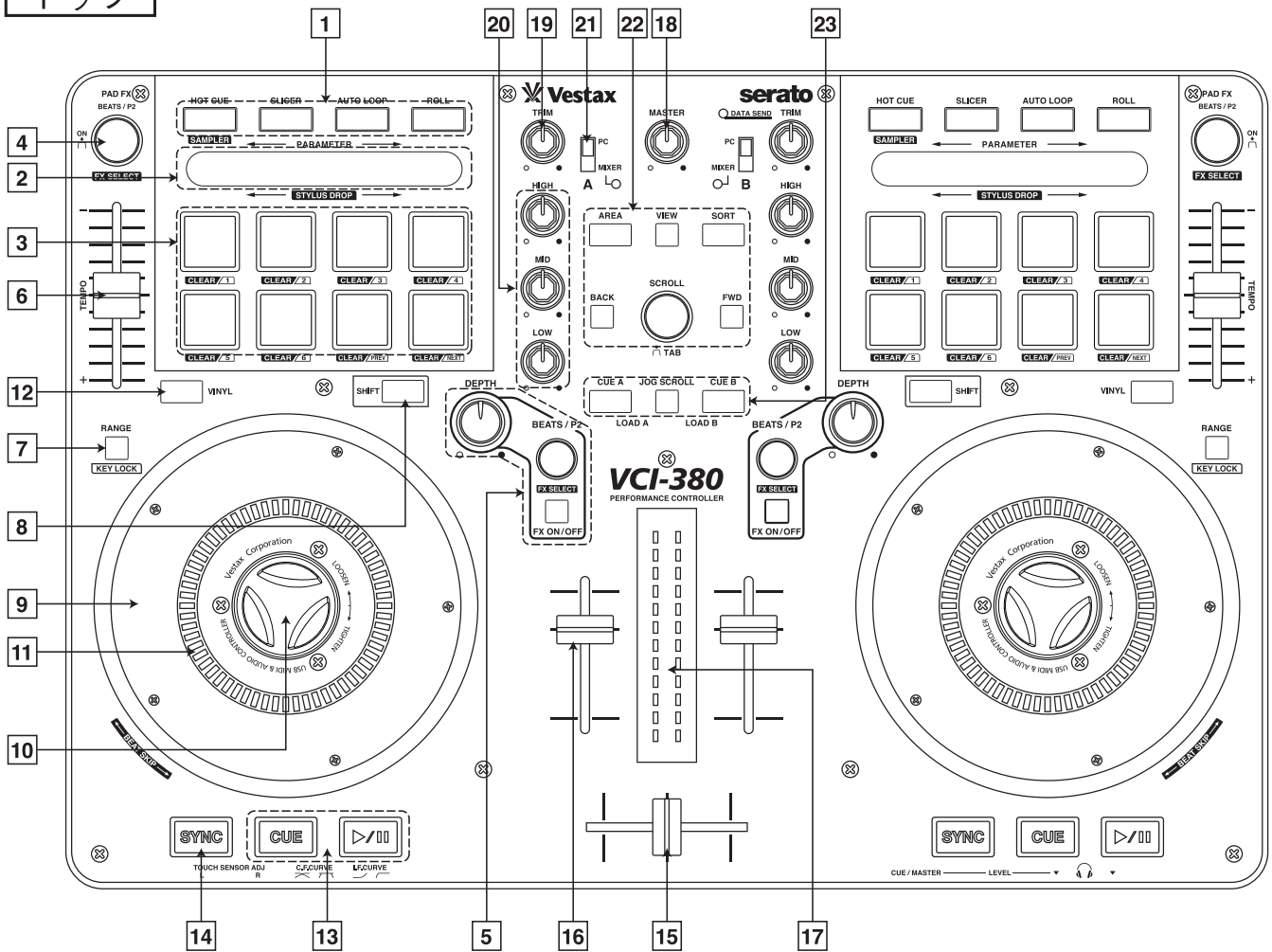
※Serato ITCH での推奨動作環境につきましては、弊社ホームページ上にて随時更新して参りますのでご確認ください。

各部の名称と機能

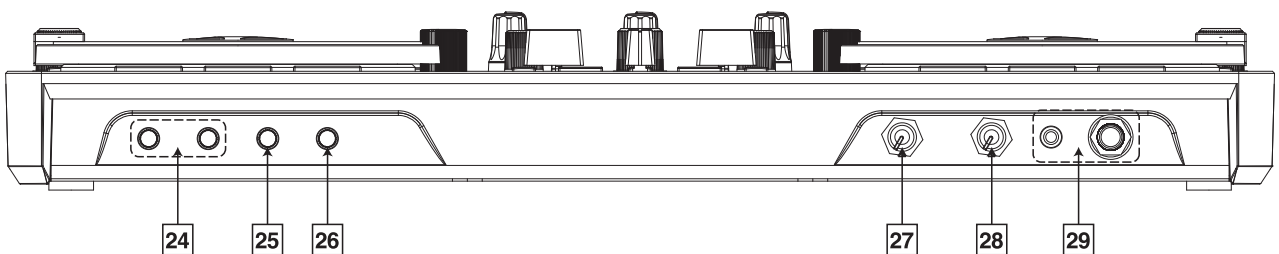
リア



トップ



フロント



Serato ITCH機能に関する詳細説明は弊社ホームページ上のSerato ITCH Manualをご確認ください。

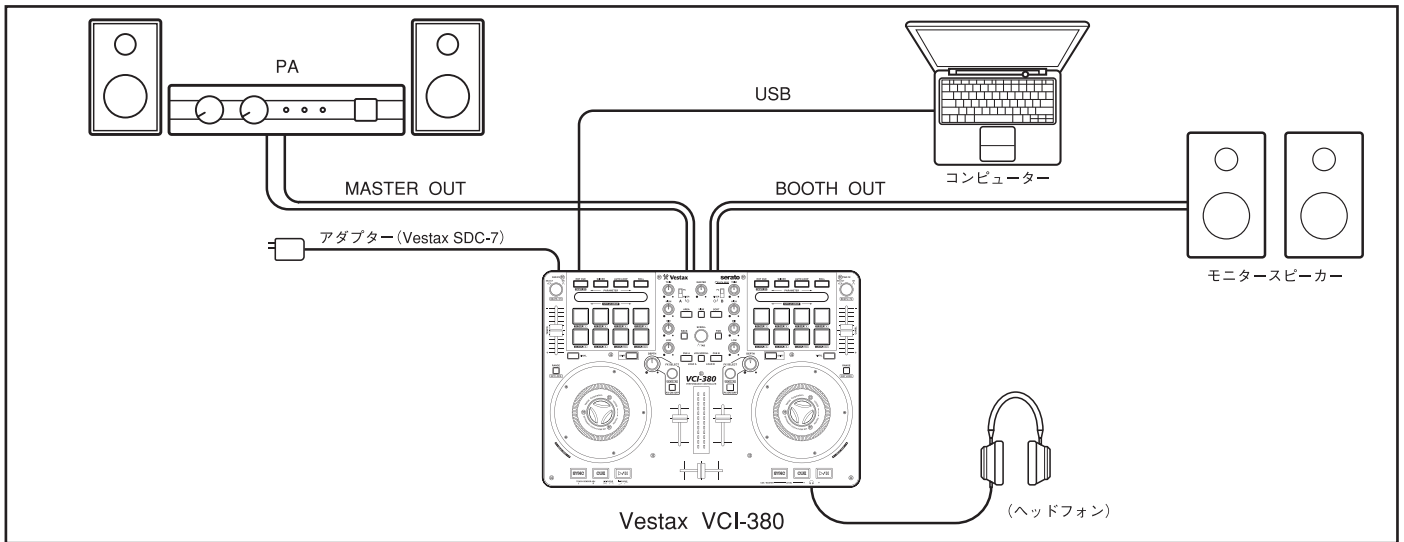
また、その他のソフトウェアでのご使用につきましては、順次弊社ホームページ上にて掲載して参りますのでご確認ください。 URL : <http://help.vestax.co.jp/>

番号	部品名	機能 / 主な使用例
1	パフォーマンスモードセレクト	8つのパフォーマンスパッドを使用したパフォーマンスモードを選択します。[HOT CUE、SLICER、AUTO LOOP、ROLL、SAMPLER (SHIFT+HOT CUE)] 各モードの詳細につきましては Serato ITCH 特定機能ガイドをご参照ください。
2	リボン(STRIIP)コントロール	各パフォーマンスモードのパラメーターを調整します。HOT CUEモード時に、SHIFT ボタンを押しながら操作することでSTYLUS DROP 機能となり、曲の異なるポイントに瞬時にアクセスすることができます。詳細につきましては Serato ITCH 特定機能ガイドをご参照ください。
3	パフォーマンスパッド	各モードに応じたパフォーマンスに使用します。HOT CUE モード時は、SHIFT ボタンを押しながら各パッドを押すと、設定したポイントの削除が行なえます。パッド FX モード時はパッドを押すことでエフェクトのパラメーターに変化を与えることができます。詳細につきましては Serato ITCH 特定機能ガイドをご参照ください。
4	パッドFX(エフェクト)コントロール	SHIFT ボタンを押しながらノブを回すことで、エフェクトの種類を選択し、ノブを押すとエフェクトがONになります。(ONの時は赤いLEDが点灯します。)ノブを回すとエフェクトのパラメーターを調整することができます。詳細につきましてはSerato ITCH特定機能ガイドをご参照ください。
5	ITCH FX(エフェクト)コントロール	ITCH内、チャンネルA/Bのエフェクトコントロールに用います。SHIFTボタンを押しながらFX SELECTノブを押すことでエフェクトの種類を選択し、FX ON/OFFボタンで選択したエフェクトのON/OFFをコントロールします。FX SELECTノブを回すことでエフェクトのパラメーターをコントロールすることができます。DEPTHノブでエフェクトのかけ具合を調整します。詳細につきましては Serato ITCH 特定機能ガイドをご参照ください。
6	TEMPO(ビッチ) フェーダー	再生しているトラックのテンポ(ビッチ)の調整に用います。
7	RANGE/KEY LOCK ボタン	ビッチのレンジ(可変幅)を設定します。SHIFTボタンを押しながら押すとKEY LOCK機能となり、再生しているトラックのKEYを固定します。
8	SHIFT ボタン	SHIFTボタンを押しながら他のボタン・ノブ(異なる2つの機能が割り当てられているもの)を操作することで、異なる機能をコントロールすることができます。
9	JOG プラッター	外周(プラスチック部)のみを回すとビッチの微調整(バンド)ができます。(左に回すと再生速度が遅くなり、右に回すと再生速度が速くなります。)また、プラッター(金属部)に触れて回すとスクラッチやバックスピンができます。
10	JOGプラッタートルク調整ノブ	JOGプラッターの回転トルク(重さ)を調整します。左に回すと軽くなり、右に回すと重くなります。
11	ニードルポイントインジケーター	Serato ITCHのパーチャルデッキの回転針に同期してLEDが作動します。
12	VINYL ボタン	JOGプラッターを操作する時のモードを切り替えます。オフ(LED否点灯)の時はピッチバンドモードになりオン(LED点灯)の時はスクラッチモードになります。
13	トランスポート ボタン	CUE ボタンは、曲の停止中に押すと新たにセットされ、曲の再生中に押すとセットされた CUE ポイントに戻って停止します。CUE ボタンを押している間だけ曲は再生されボタンを離すと元のCUEポイントに戻ります。CUEボタンを離す前に再生一時停止ボタンを押すと曲が継続して再生されます。
14	SYNC(シンク) ボタン	SYNC機能の設定に用います。(SYNC機能: マスターデッキのテンポ(BPM)に、指定した曲のテンポを自動で合わせる機能。)
15	クロスフェーダー	左右(CH-A、CH-B)に振り分けられたチャンネルの音を切り替えます。
16	インプットフェーダー	各チャンネルの音量を調整します。
17	LED メーター	CUE A/Bボタン(23)がONの時は、各チャンネルのインプットレベルを表示し、CUE A/BボタンがOFFの時はアウトプットレベルを表示します。
18	MASTER LEVEL ノブ	マスター出力レベルの調整に用います。
19	TRIM ノブ	TRIM機能のコントロールに用います。(TRIM機能: 入力された音声レベルの調整)
20	EQ(イコライザー) ノブ	EQ機能のコントロールに用います。(HI=高音域、MID=中音域、LOW=低音域)
21	ミキサーモードセレクター	ソフトウェアのコントロールを行なう場合はスイッチを「PC」側にスタンドアローンミキサーとして使用する場合はスイッチを「MIXER」に切り替えます。
22	ブラウザー エリア	SCROLL ノブでリストのスクロールを行います。AREA ボタンはプレイリストの表示を切り替え、VIEW ボタンは画面上のレイアウトを切り替えます。SORT ボタンを押すと、プレイリスト上の表示順を、曲名、アーティスト名、といった種類順に切り替えることができます。BACK、FWD ボタンはリスト上の表示位置を左右に動かすことができます。
23	CUE/LOAD エリア	ヘッドフォンでモニタリングする場合には、モニタリングしたいチャンネル側のCUEボタンを押します。また曲のロードを行なう場合は、JOG SCROLLボタンを押しながら、ロードしたいデッキ側のCUEボタンを押します。JOG SCROLLボタン点灯時は、プレイリストのスクロールにJOGホイールを使用することができます。
24	TOUCH SENSOR レベル調整ノブ	JOGプラッターのタッチセンサー感度を調整します。右に回すと感度が強くなり、左に回すと弱くなります。
25	CF CURVE 調整ノブ	クロスフェーダーのカーブ特性(音の変化具合)を調整します。
26	IF CURVE 調整ノブ	インプットフェーダーのカーブ特性(音の変化具合)を調整します。
27	CUE MIX 調整ノブ	ヘッドフォンモニター、マスターアウトとモニターアウトとのバランスを調整します。
28	ヘッドフォンレベル 調整ノブ	ヘッドフォンの出力レベルを調整します。
29	ヘッドフォン 端子	ヘッドフォンを接続する端子です。Φ6.3標準プラグと、Φ3.5ステレオミニオンプラグの2種類の形状を接続することができます。
30	MIC 1 入力端子	マイクを接続する入力端子です。XLR(キャノン)端子を接続することができます。
31	MIC 2 入力端子	マイクを接続する入力端子です。Φ6.3モノラルオンプラグを接続することができます。
32	MIC 1/2 LEVEL 調整ノブ	MIC 1/2それぞれに入力された音声信号のレベルを調整します。
33	INPUT A/B 入力端子	レコードプレイヤーやCDプレイヤーなどの外部出力機器を接続する端子です。
34	PHONO / LINE 切替えスイッチ	INPUT A/Bに接続された機器の入力切替えスイッチです。PHONO(レコードプレイヤーなど):スイッチオフ LINE(CDプレイヤーなど):スイッチオン
35	INPUT A/B PRE-TRIM ノブ	INPUT A/Bに接続された機器の入力レベルを調整します。
36	GND(グラウンド)端子	レコードプレイヤーのアース線を接続する端子です。ノイズやハムを減少させるので、必ず接続してください。
37	BOOTH OUT 端子 (UNBALANCED)	RCAピンケーブルを接続し、出力機器(アンプ、パワードスピーカー、PAミキサー等)に接続します。
38	BOOTH OUT LEVEL 調整ノブ	BOOTH OUTから出力される音声信号のレベルを調整します。
39	MASTER OUT 端子 (BAL.)	18「MASTER LEVEL ノブ」で調整された音声信号を出力します。XLR(キャノン)端子(メス:2PIN HOT)のケーブルを接続し、出力機器(アンプ、パワードスピーカー、PAミキサー等)に接続します。
40	電源アダプター接続端子	付属の専用アダプター(Vestax SDC-7:DC7.5V 1000mA)を接続します。
41	POWER スイッチ	電源のON/OFFスイッチです。
42	USB 端子 (Bタイプ)	お使いのコンピュータのUSB端子と接続します。※USB2.0ポートに接続してください。
43	ケンジントロック	ケンジントロックを装着できます。

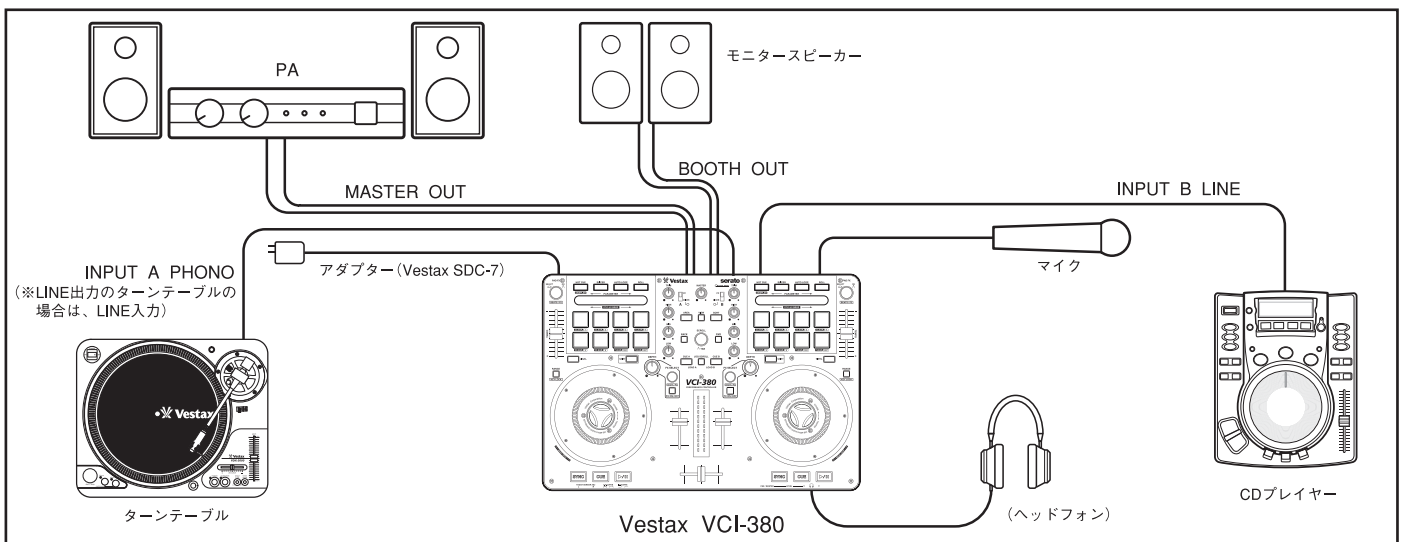
セットアップ

A. 接続例

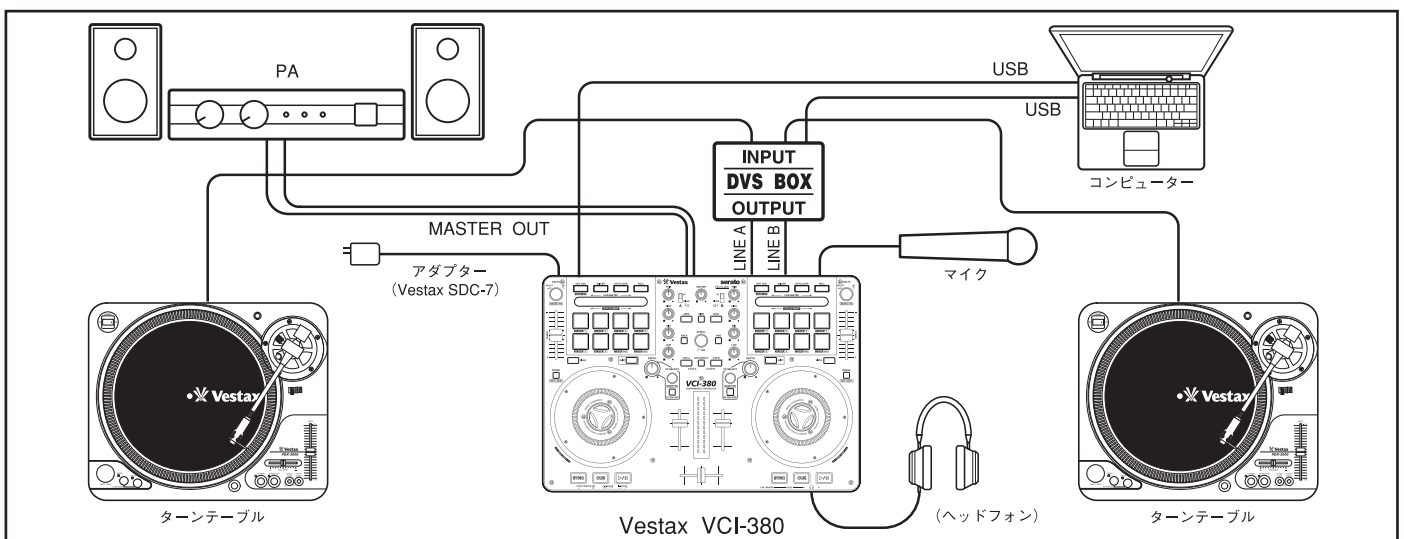
(1) コントローラーシステム



(2) スタンドアロンミキサーシステム



(3) DVS システム (Serato Scratch Live, Native Instruments Traktor scratch 等)



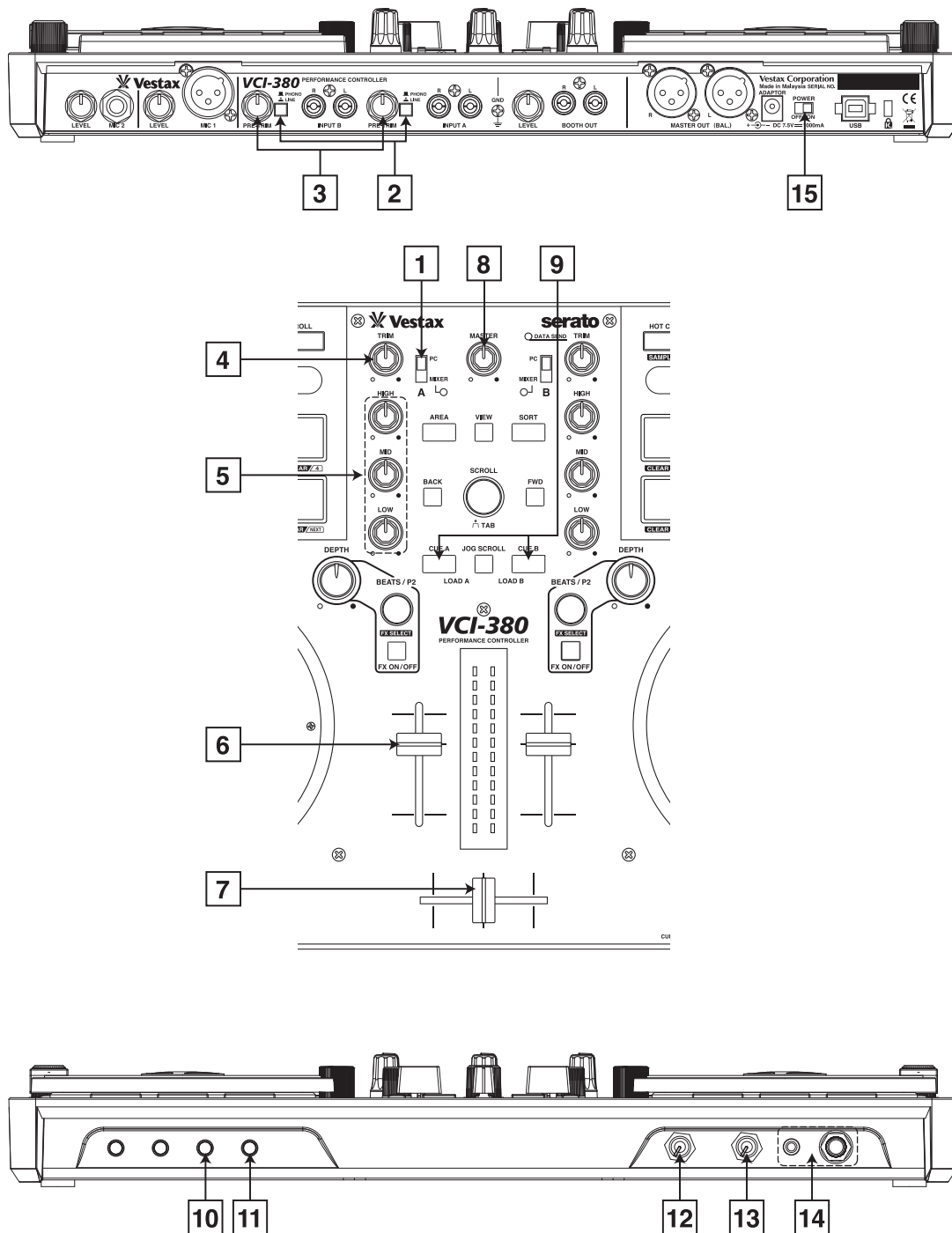
●ご使用前に左右の JOG ダイアルのタッチセンサーレベルを調整してください。

本体の電源を入れると、JOG プラッター下部の LED が点灯します。
 本体手前左側にある TOUCH SENSOR ノブで調整します。(右に回すと感度が強くなり、左に回すと弱くなります)
 プラッター (金属部) に手を触れると LED が赤色に点灯し、手を離すと LED が白色に点灯しますので、適度な状態に左右それぞれ調整してください。

※左右の JOG の感度の値は必ずしも同じにはなりませんので、必ずそれぞれについて感度調整をしてください。また、使用する環境によっても感度状態が変わることがありますので、ご使用前には必ず調整を行ってください。

B. スタンドアローンミキサーとして使用する場合

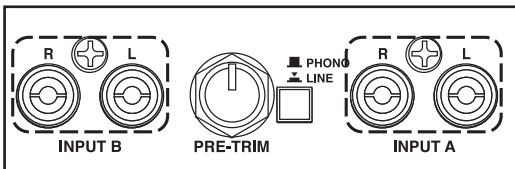
1. 機能説明



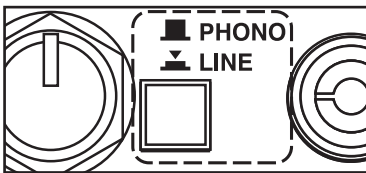
番号	部品名	機能 / 主な使用例
1	チャンネルモードセレクト スイッチ	ソフトウェアのコントロールを行なう場合はスイッチを「PC」側に、スタンドアローンミキサーとして使用する場合はスイッチを「MIXER」側に切り替えます。
2	PHONO / LINE 切替えスイッチ	INPUT A/Bに接続された機器の入力切替えスイッチです。 PHONO(レコードプレイヤーなど): スイッチOFF LINE(CDプレイヤーなど): スイッチON
3	INPUT A/B PRE-TRIM ノブ	INPUT A/Bに接続された機器の入力レベルを調整します。
4	TRIM ノブ	TRIM機能のコントロールに用います。(TRIM機能: 入力された音声レベルの調整)
5	チャンネルEQ(イコライザー)	EQ機能のコントロールに用います。(HI=高音域、MID=中音域、LOW=低音域) +6dBから-12dBの間で調整することができます。
6	インプットフェーダー	各チャンネルの音量を調整します。
7	クロスフェーダー	左右(CH-A、CH-B)に振り分けられたチャンネルの音を切り替えます。
8	MASTER LEVEL ノブ	マスター出力レベルの調整に用います。
9	モニターCUEボタン	ヘッドフォンでモニタリングをする場合には、モニタリングしたいデッキ側のCUEボタンを押します。
10	CF CURVE 調整ノブ	クロスフェーダーのカーブ特性(音の変化具合)を調整します。
11	IF CURVE 調整ノブ	インプットフェーダーのカーブ特性(音の変化具合)を調整します。
12	CUE MIX 調整ノブ	ヘッドフォンモニターの、マスターアウトとモニターアウトとのバランスを調整します。
13	ヘッドフォンレベル 調整ノブ	ヘッドフォンの出力レベルを調整します。
14	ヘッドフォン 端子	ヘッドフォンを接続する端子です。Φ6.3標準プラグと、Φ3.5ステレオミニフォンプラグの2種類の形状を接続することができます。
15	POWER スイッチ	電源のON/OFFスイッチです。

2. 使用方法

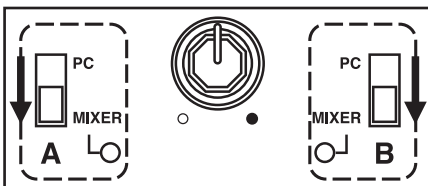
- (1) 外部機器の出力端子から、本機背面の INPUT A もしくは INPUT B に接続します。



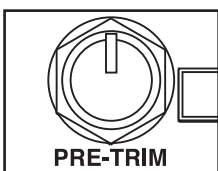
- (2) 本機背面の入力切替スイッチにて入力した機器の種類を選択します。
PHONO (ターンテーブル等) - スイッチ OFF
LINE (CD プレイヤー等) - スイッチ ON



- (3) 本体の POWER を ON にし、トップパネルのミキサーモードセクターを「MIXER」側に切り替えます。



- (4) 本機背面の INPUT A/B PRE-TRIM ノブで入力レベルを調整します。



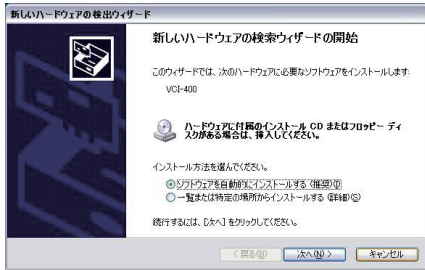
C. ドライバーのインストール

■はじめに

※Windows の場合のみ、ドライバーのインストールが必要となります。

インストールを行なう際は、常時起動ソフト（セキュリティソフトなど）を一時停止してください。

Windows XP の場合コンピュータの性能によっては、最初に VCI-380 を接続した際や、インストールの途中もしくは完了後に右記のブラウザが表示される場合があります。その場合には「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」にチェックを入れ「次へ」をクリックし、インストールを行なってください。



■インストールの手順

1. VCI-380 をコンピュータに接続し、電源を ON にします。
※「D. コンピュータとの接続」をご確認ください。

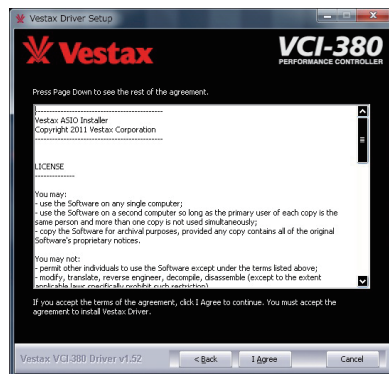
2. 付属の CD-ROM「Vestax ASIO Driver」をコンピュータに挿入し、CD-ROM 内容の「Vestax VCI-380 Audio Driver.exe」をダブルクリックします。



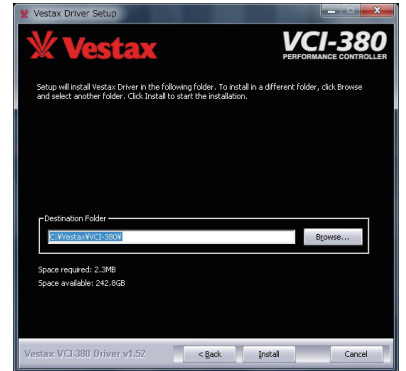
3. インストーラーが立ち上がるので、「Next」をクリックします。



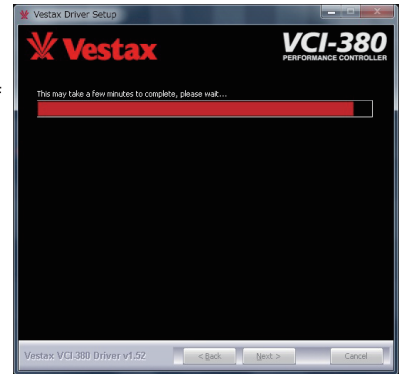
4. 使用許諾書の画面が表示されるので、確認後に「I Agree」をクリックします。



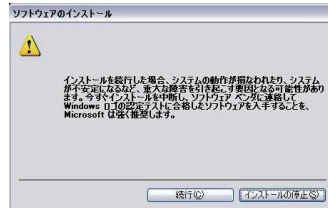
5. インストール先を指定する画面が表示されるので、特に指定が無ければ「Install」をクリックします。指定がある場合は、「Browse」ボタンをクリックしてダウンロード先を指定してください。



6. ドライバーのインストールが始まります。インストールには数分時間がかかる場合もありますのでお待ちください。



備考：Windows XP の場合、下記のブラウザが表示される場合があります。その場合にはそれぞれ「続行」をクリックします。



7. インストールの完了を知らせる画面が表示されたら「Finish」をクリックしてインストールを終了してください。



8. VCI-380 を再起動（電源を一度 OFF にし、もう一度 ON にしてください）し、コンピュータの認識を確認してください。

※「E. コンピュータとの認識を確認するには」をご確認ください。

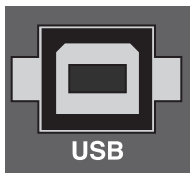
D. コンピュータとの接続

●本製品をご使用の際は、必ず付属の専用アダプター (SDC-7) を接続してください。
※本製品は USB バスパワーでは駆動いたしませんのでご注意ください。

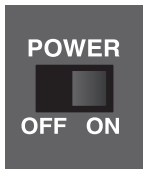
1. 付属の電源アダプターを本機に接続します。



2. 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続します。



3. 本機リア面の電源スイッチを ON にします。

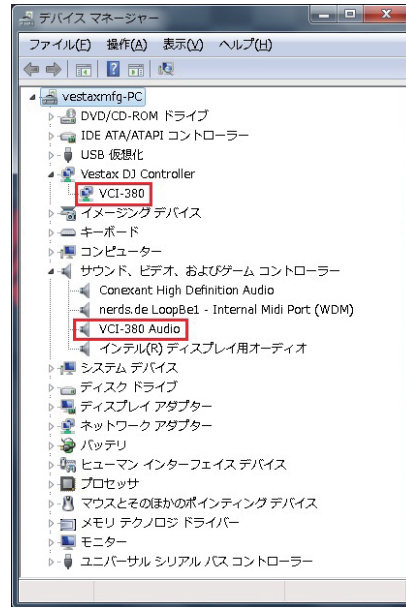


[ご注意]
本機の電源を ON にし、コンピュータの認識を確認してからソフトウェアを起動してください。

E. コンピュータとの認識を確認するには

■ Windows の場合

[Vestax DJ Controller]>[VCI-380]>プロパティに「このデバイスは正常に動作しています。」と表示。
[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]>[Vestax VCI-380 Audio]>プロパティに「このデバイスは正常に動作しています。」と表示。



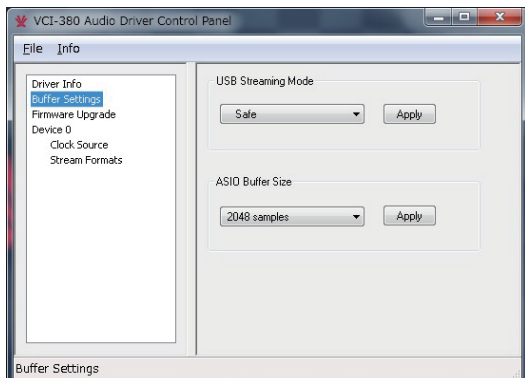
■ Macintosh の場合

[Finder]>[アプリケーション]>[ユーティリティ]>[Audio MIDI 設定]>ウインドウのタブから「MIDI スタジオ」を開くと、VCI-380 が表示されます。アイコンをクリックしてプロパティを確認できます。

【ドライバーコントロールパネルの補足説明】

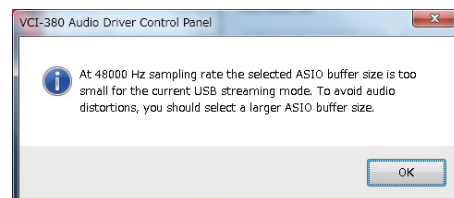
Audio Driver のインストール後、コンピュータに自動的に「VCI-380 Control Panel」というドライバーのコントロールパネルが生成されます。
[スタート]>[プログラム]>[Vestax]>[VCI-380]>[VCI-380 Control Panel]
※タスクバーのアイコンからも起動できます。

■ Buffer Settings についての注意事項



- USB Streaming Mode を変更する場合には、起動中のアプリケーションを一度終了させてください。
- ASIO Buffer Size を変更した際に、下記のメッセージが表示される場合があります。この場合、お使いのコンピュータの性能や、設定されている Sample Rate、USB Streaming Mode に対して数値が小さすぎるという注意になりますので、ASIO Buffer Size の数値を大きく設定するか、USB Streaming Mode を大きく設定してください。

※Minimum Latency < Low Latency < Standard < Relaxed < Safe < Extra Safe



故障かな？と思ったら

本体の調子がおかしいときは、修理に出される前に以下の点をもう一度ご確認ください。

それでも正常に動作しないときは、お買い上げの販売店、または弊社カスタマーサポート(cs@vestax.jp)へご相談ください。

症状	考えられる原因と対策
電源が入らない	付属の電源アダプターが接続されているかご確認ください。(コンセントタップ等のスイッチがONになっていることもご確認ください。) 本体背面の“POWER”スイッチが「ON」になっているかご確認ください。 USBケーブルがきちんと接続されているかご確認ください。 USBハブに接続している場合は、コンピュータ本体のUSBポート(USB2.0ポート)に接続してください。
コンピュータに認識されない	コンピュータのスペック(仕様)が推奨動作環境を満たしているかご確認ください。(本紙4ページ参照) Windowsご使用の場合、付属のオーディオドライバーがインストールされているかご確認ください。 別のUSBポートにUSBケーブルを接続してみてください。(コンピュータのUSBポートの箇所によって認識に差がある可能性があります。) USBハブに接続している場合は、コンピュータ本体のUSBポートに接続してください。 USBケーブルを別のものに変えてみてください。(ケーブル不良の可能性があります。) 本機の電源をONにしてからソフトウェアを起動してください。(起動順によってUSBの認識がうまくされないことがあります。) 他に起動しているアプリケーション、無線LAN、ウイルスソフト、常時起動ソフト、Bluetoothの使用を停止してみてください。 ウェブカメラ、ゲームコントローラー等、他のドライバーが妨げになっている場合があります。その場合は一度他のドライバーの使用を中止してみてください。 レジストリを削除してください。(Windowsにて使用する場合、レジストリが蓄積されているとUSBデバイスを正常に認識できないことがあります。)
JOGプッシャーが正常に機能しない	JOGのセンサーボリューム(本体手前面“TOUCH SENSOR”ノブ)を適正感度となる位置に調整してください。(必ずしも左右のJOGが同じボリューム位置で適正になるとは限りません。)
DATE SEND LEDが光らない	本体背面の“POWER”スイッチが「ON」になっているかご確認ください。
ソフトウェアと同期しない	ご使用のソフトウェアの設定をご確認ください。(オーディオ設定、MIDIマッピング) 別のUSBポートにUSBケーブルを接続してみてください。(コンピュータのUSBポートの箇所によって認識に差がある可能性があります。) コンピュータのスペック(仕様)が推奨動作環境を満たしているかご確認ください。(本紙4ページ参照)
音が出ない	各種ボリューム(インプットフェーダー、TRIM、MASTER)が上になっているかご確認ください。また、スピーカーなど周辺機器のボリュームもご確認ください。 本体背面の“MASTER OUT”からアンプ、スピーカーなどへ正しく接続されているかご確認ください。 Windowsご使用の場合、付属のオーディオドライバーがインストールされているかご確認ください。
ヘッドホンから音が聞こえない	本体手前面の“HEADPHONE LEVEL”のボリュームが上になっているか、本体トップ面のモニターCUEボタンがONになっているかをご確認ください。 ソフトウェアのオーディオ設定をご確認ください。また、ソフトウェア内にモニターボリュームなどがある場合はそちらのLEVELが上になっているかご確認ください。
ノイズが発生する	ソフトウェア内のバッファサイズを変更することで改善されることがあります。 Windowsご使用の場合、付属のオーディオドライバーがインストールされているかご確認ください。(オーディオドライバーが正しくインストールされていない場合にノイズが発生することがあります。) コンピュータのスペック(仕様)が推奨動作環境を満たしているかご確認ください。(本紙4ページ参照) お使いのソフトウェア内でオーバーロードしていないかをご確認ください。(TRIM/GAINを調整してください。)
付属のオーディオドライバーCDがインストールできない	コンピュータが、管理者権限にてログインされているかをご確認ください。 アプリケーションを複数起動している際は、それらを終了してお試しください。 ウイルス検知ソフト等を使用している場合は、一時停止してください。 どうしてもインストールがうまくいかない場合は、弊社サポートサイトよりファイルのダウンロードが可能です。(URL: help.vestax.co.jp)
CF(クロスフェーダー)を左右にきっても音が鳴ったままになる	ご使用のソフトウェアの設定で、CF(クロスフェーダー)機能が無効になっていないかご確認ください。
CF(クロスフェーダー)を左右に動かすと音が急に変わる	本体手前にあるC.F. CURVE調整ノブを回して調整してください。
MIXERモード時に音が歪む / 音が小さい	35. 「INPUT A/B LEVEL 調整ノブ」を調整してください。 34. 「PHONO / LINE 切替えスイッチ」が正しく選択されているかご確認ください。
MIXERモード時にFX操作が効かない	PAD FX及びITCH FXは、PCモード時のみの機能となります。

- ※1) 製品と一緒に使用するコンピュータが本書に記載する推奨動作環境を満たしていない場合は、いかなる動作の保証も致しかねますことを、あらかじめご了承ください。
- ※2) VCI-380 を使用する際はより安定した動作の為に以下の点をご確認ください。
- ・使用するソフトウェア以外のアプリケーションを終了する
 - ・常時起動ソフトを終了する (ウイルスソフトなど)
 - ・無線LAN や Bluetooth 機能の使用を停止する
 - ・ウェブカメラなど他のドライバーの使用を停止する
- ※3) 製品のサポート情報に関しては弊社サポートサイトの情報が常に最新となります。本書に記載されている項目以外で不明な点がございましたら、下記 URL をご確認ください。
弊社サポートサイト URL : www.help.vestax.co.jp

主な仕様

アナログオーディオ

INPUT A/B LINE 入力	アンバランス、ステレオ RCA ピンジャック ×2 系統
入力インピーダンス	: 56k Ω
規定入力レベル	: -10dBV
INPUT A/B PHONO 入力	アンバランス、ステレオ RCA ピンジャック ×2 系統
入力インピーダンス	: 56k Ω
規定入力レベル	: -45dBV
MIC 1 入力	バランス、XLR コネクタ (メス、1.GND、2.Hot、3.Cold) ×1 系統
MIC 2 入力	バランス、 ϕ 6.3 フォンジャック ×1 系統
入力インピーダンス	: 5k Ω
規定入力レベル	: -50dBV ~ -20dBV
MASTER 出力	バランス、XLR コネクタ (オス、1.GND、2.Hot、3.Cold) ×2 系統
負荷インピーダンス	: 10k Ω 以上
規定出力レベル	: +0dBV
最大出力レベル	: +10dBV (入力切替スイッチが "MIXER" 側のミキサーモード時) (ソフトウェアによる 0dBFS レベル記録信号再生時、+5dBV)
BOOTH 出力	アンバランス、ステレオ RCA ピンジャック ×1 系統
負荷インピーダンス	: 10k Ω 以上
規定出力レベル	: +0dBV
最大出力レベル	: +10dBV (入力切替スイッチが "MIXER 側" のミキサーモード時) (ソフトウェアによる 0dBFS レベル記録信号再生時、+5dBV)
HEADPHONES 出力	ϕ 6.3 ステレオフォンジャック ×1 系統、 ϕ 3.5 ステレオミニフォンジャック ×1 系統
定格インピーダンス	: 47 Ω
最大出力レベル	: 60mW + 60mW

デジタルオーディオ

AD/DA コンバータ	
ビットレート	: 24bit
サンプリング周波数	: 48kHz 以上
USB I/O	: USB 2.0 4チャンネルオーディオ I/O、MIDI コントロール I/O B タイプコネクタ (メス)
USB Audio Class	: UAC 2.0

総合性能

周波数特性	: 20Hz ~ 20kHz (\pm 0.5dB)
SN	: 80dB (A-WTD) 以上
THD	: 0.05%以下

その他

電源	: DC7.5V (専用アダプター Vestax SDC-7)
消費電力	: 6W (AC100V ~ 230V)
外形寸法	: 427(W) x 290(D) x 40(H)mm (突起部除く) 427(W) x 304(D) x 60(H)mm (突起部含む)
質量	: 3.5kg

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

この期間は通産相の指導によるものです。性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

●製品の使用の問合せ及びサポート

お問い合わせ

Email : cs@vestax.jp (24 時間受付)

TEL : 03-3422-1811 (平日 10:00 ~ 18:00)

web: <http://www.vestax.jp>

●修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

ご相談の上修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。見積りが必要な場合はあらかじめお伝えください。

お買い上げの日

お買い上げ店名

電話 () -

CONGRATULATIONS!

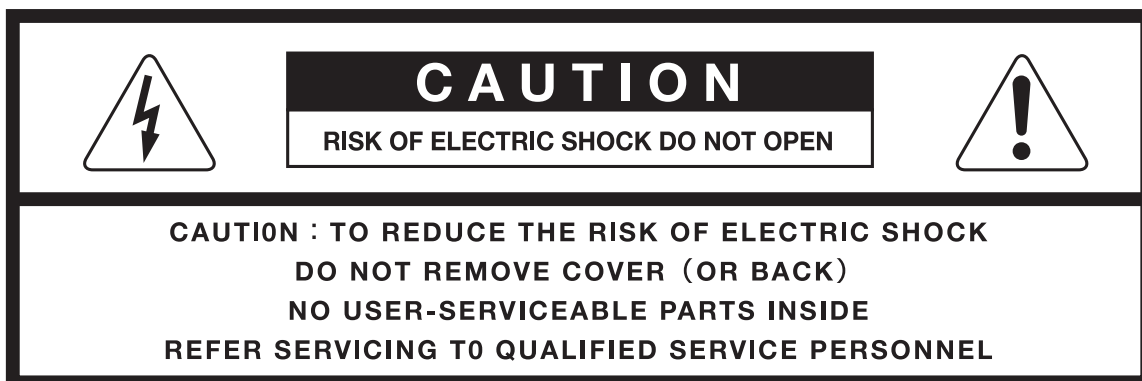
READ BEFORE USE

Thank you for purchasing the VCI-380.
Please read this user's manual before use to maximize the performance of the VCI-380.

TABLE OF CONTENTS

●CAUTION	16
●IMPORTANT SAFETY PRECAUTIONS	17
●INTRODUCING THE Vestax VCI-380	18
●MAIN FEATURES	18
●INCLUDED ITEMS	18
●MINIMUM SYSTEM REQUIREMENTS	18
●CONTROLS AND FEATURES	19
●SETTING UP THE VCI-400	21
●TROUBLE SHOOTING	26
●SPECIFICATIONS	27
●MIDI MAP	28

CAUTION



The lightning flash with arrowhead symbol, within an equilateral triangle, is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE.

NOTE

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTE

Changes or modifications may cause this unit to fail to comply with Part 15 of the FCC Rules and may void the user's authority to operate the equipment.

IMPORTANT SAFEGUARDS

READ BEFORE OPERATING EQUIPMENT

This product was designed and manufactured to meet strict quality and safety standards. There are, however, some installation and operation precautions which you should be particularly aware of.

1. Read instructions-All the safety and operating instructions should be read before the appliance is operated.
2. Retain instructions-The safety and operating instructions should be retained for future reference.
3. Heed Warnings-All warnings on the appliance and in the operating instructions should be adhered to.
4. Follow Instructions-All operating and use instructions should be followed.
5. Cleaning-Do not use liquid cleaners or aerosol cleaners. Use a damp cloth for cleaning.
6. Attachments-Do not use attachments not recommended by the product manufacturer as they may cause hazards.
7. Water and Moisture-Do not use this product near water-for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink, or laundry tub, in a wet basement, or near a swimming pool, and the like.
8. Accessories-Do not place this product on an unstable cart, stand, tripod, or table. The product may fall, causing serious injury to a child or adult, and serious damage to the appliance. Use only with a cart, stand, tripod, bracket, or table recommended by the manufacturer, or sold with product. Any mounting of the appliance should follow the manufacturer's instructions, and should use a mounting accessory recommended by the manufacturer.
9. This product should never be placed near or over a radiator or heat register. This product should not be placed in a built-in installation such as a bookcase or rack unless proper ventilation is provided or the manufacturer's instructions have been adhered to.
10. Power sources-This product should be operated only from the type of power source indicated on the marking label. If you are not sure of the type of power supply to your home, consult your appliance dealer or local power company.
11. Lightning-For added protection of this product during a lightning storm, or when it is left unattended and unused for long periods of time, unplug it from the wall outlet. This will prevent damage to the product due to lightning and power-line surges.
12. Overloading-Do not overload wall outlets and extension cords as this can result in a risk of fire or electric shock.
13. Object and Liquid Entry-Never push objects of any kind into this product through openings as they may touch dangerous voltage points or short-out parts that could result in a fire or electric shock. Never spill liquid of any kind on the product.
14. Servicing-Do not attempt to service product yourself as opening or removing covers may expose you to dangerous voltage or other hazards. Refer all servicing to qualified personnel.

INTRODUCING THE Vestax VCI-380

VCI-380 is a 2 channel DJ controller with a built-in DJ mixer, powerful and creative, opening the door to limitless possibilities of controllerism. Mix, scratch, cue, effect, sample, trigger, loop and slice. Every feature of the VCI-380 is optimized to enhance the DJs performance and take a new approach in manipulating music. Designed hand in hand with Serato, VCI-380 is bundled with ITCH, providing an arsenal of musical craft tools with perfect integrity, straight out of the box.

MAIN FEATURES

- 2 Channel USB MIDI controller for Serato ITCH
- Built-in 24Bit/48kHz audio interface
- 2 x 8 Performance Pads with Aftertouch control
- 5 performance modes (Hot Cue, Auto Loop, Slicer, Roll, Sampler)
- PAD FX function
- Channel FX controls
- Ribbon (strip) control for Pad parameters and Needle Drop
- Large scale 5 1/3 inch jog wheels with needle position display
- 2 Channel stand-alone audio mixer with Phono / Line input
- Trim and 3 band Eq on stand-alone mixer.
- 2 Mic inputs with volume control
- Balanced Master output (XLR) & Booth output (RCA)
- Robust metal body construction
- Vestax CF-X2 (Digital Crossfader) compatible

INCLUDED ITEMS

- User Manual
- USB Cable
- GND Cable
- Power Adaptor (Vestax SDC-7)
- Audio driver installer disc (for Windows)
- Serato ITCH installer download ticket

MINIMUM SYSTEM REQUIREMENTS

[Windows]

- OS :Windows 7(SP1 32bit/64bit)
- CPU :Intel Core Duo or more
- RAM :2.0GB or more
- USB2.0 port
- CD-ROM DRIVE

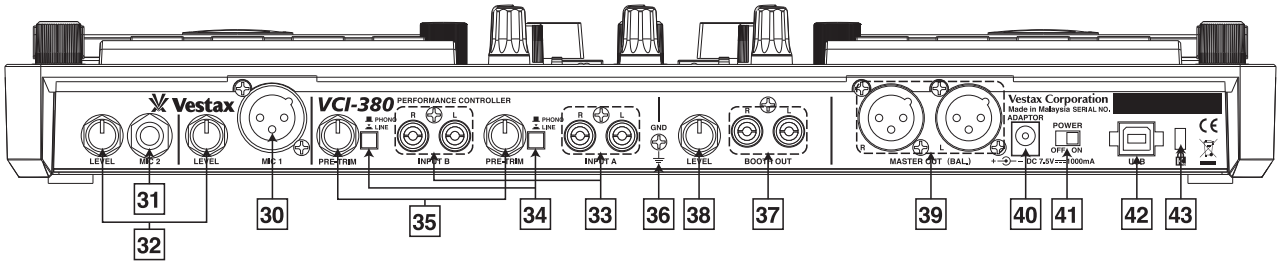
[Macintosh]

- OS :Mac OS X 10.6/10.7
- CPU :Intel Core Duo or more
- RAM :2.0GB or more
- USB2.0 port
- CD-ROM DRIVE

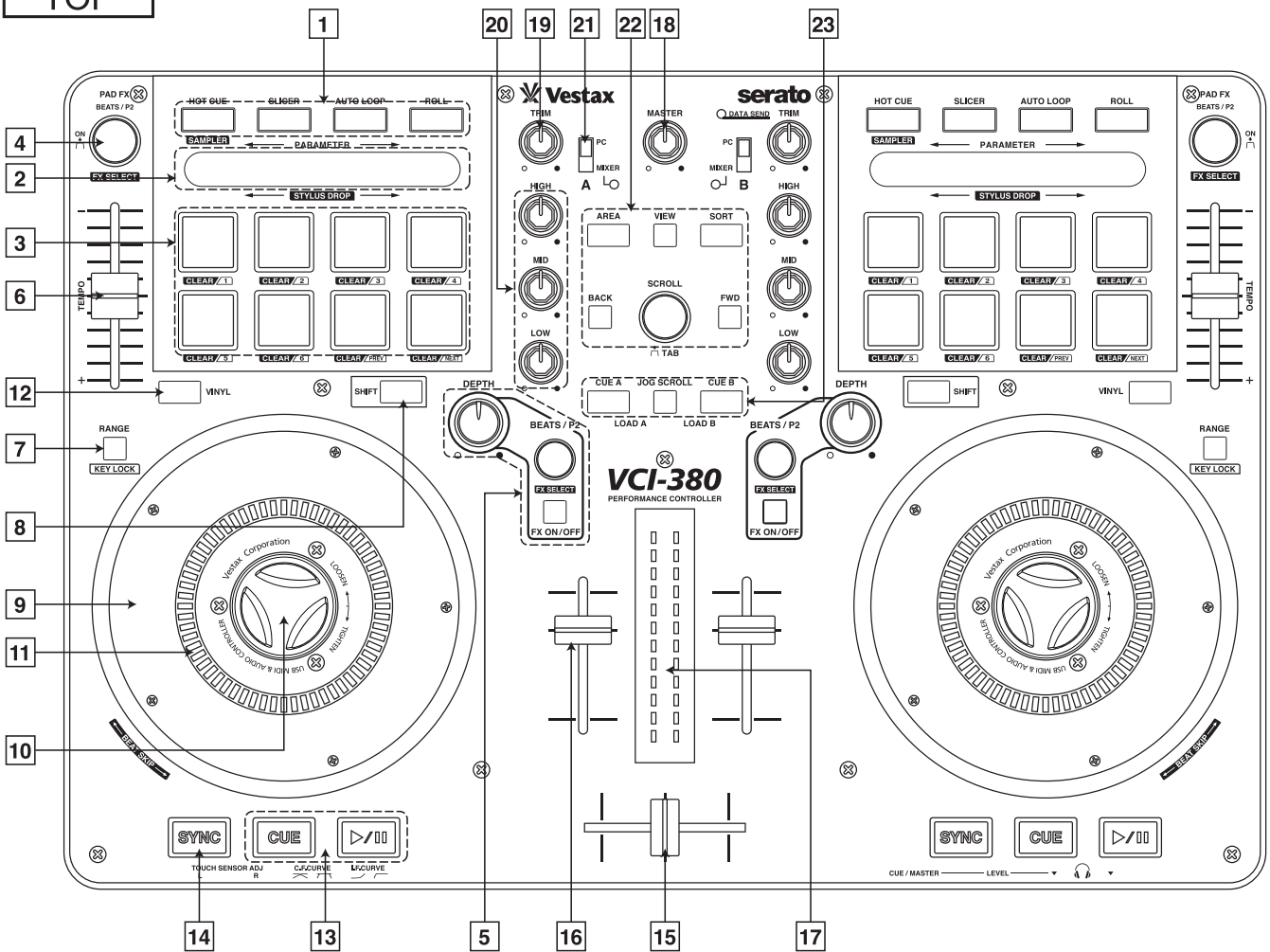
※VCI-380 does not support Intel Celeron, ATOM, and AMD processors.
※Minimum system requirements for Serato ITCH are subject to change upon updates.
Please visit www.vestax.com for the latest information.
Please note above are the minimum requirements and do not guarantee operation with all computers and devices.
For best performance we recommend purchasing a higher spec computer.

CONTROLS AND FEATURES

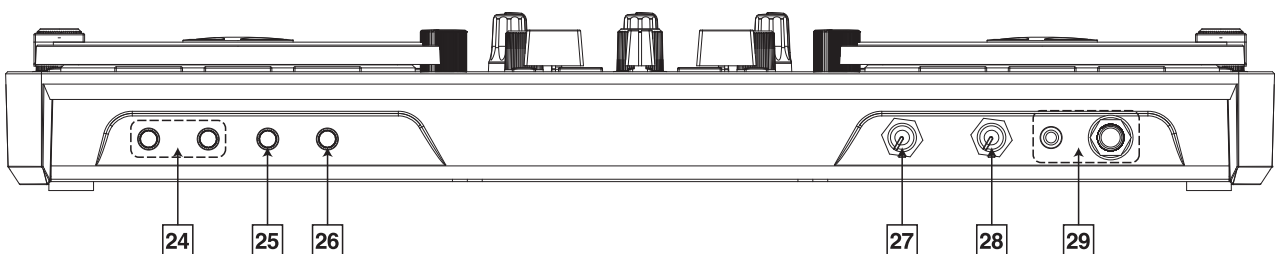
REAR



TOP



FRONT

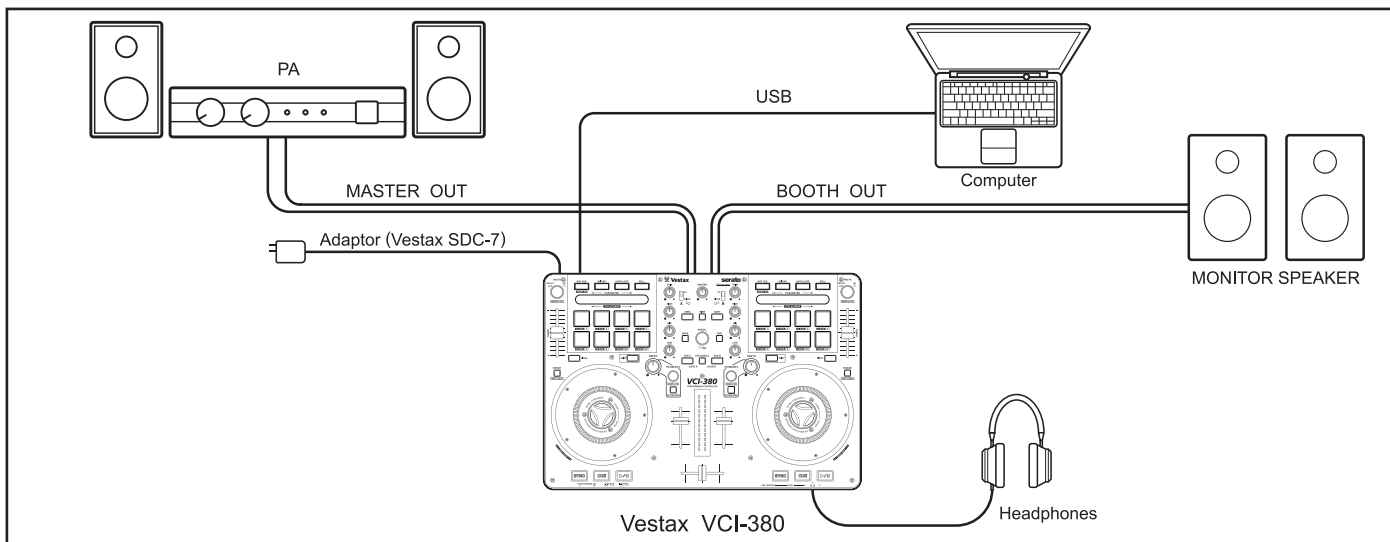


No.	Control Name	Function / Assign examples
1	PERFORMANCE MODE SELECTOR	Selects the Performance Mode on ITCH between Hot Cue, Slicer, Auto Loop, Roll and Sampler. Using Shift + Hotcue will select Sampler mode. Check ITCH Specific Function Guide for more details on this function.
2	RIBBON (STRIP) CONTROL	The Ribbon controls the Performance Modes parameters. Use Shift to activate Stylus Drop in Hot Cue mode. Check ITCH Specific Function Guide for more details on this function.
3	PADS	The Pads control the performance Modes by Trigger, and control Pad FX Depth by holding the Pad (Aftertouch). Check ITCH manual for more details on this function.
4	PAD FX ENCODER	Push Shift and turn the FX Select encoder together to select the desired FX type; Activates the Pad Fx by pushing the encoder. Red ring lifts up when Pad Fx is activated (On). Simply turn the FX Select encoder to adjust the Beat / Parameter value for the desired FX. Check ITCH Specific Function Guide for more details on this function.
5	ITCH FX CONTROL AREA	Controls the FX section of channels A and B in ITCH. Check ITCH manual for more details on this function. When A or B channel is running Mixer mode, ITCH FX are not active on the audio of the corresponding channel.
6	TEMPO (PITCH) SLIDER	Increases / decreases the playback speed in ITCH.
7	TEMPO RANGE (KEY LOCK)	Toggles the variation range of the Tempo slider. Activates / deactivate Key Lock when using shift.
8	SHIFT BUTTON	To hold Shift button will activate Shift layer. Every controls marked with Shift layer (black on white text) can be activated by holding shift + pressing desired button.
9	JOG WHEEL PLATTER	The touch sensitive JOG wheel is commonly used to scratch, backspin and cue a track. Th JOG wheel functions as pitch bend when touching the sides.
10	JOG TORQUE ADJUSTMENT	The torque of the jogwheel can be adjusted to the user's preference by turning the center plate. Torque becomes heavier twisting the plate clockwise and heavier anti-clockwise. Note: After unpacking a new unit, the Torque is set to Lighter position. The plate may have some resistance when turned clockwise for the first time. This behaviour disappears after the first complete rotation of the plate.
11	NEEDLE POSITION INDICATOR	When ITCH is playing a track, the display is synchronised with the software needle position indicator.
12	VINYL BUTTON	Switches the function mode of the jogwheel. Off: Pitch Bend mode, On: Scratch Mode (Pitch bend is operated by the jogwheel sides).
13	TRANSPORT BUTTONS	Cue button sets Cue Point and rewinds to Cue Point, Play starts / Stops the Playback. Check ITCH manual for more details on this function.
14	SYNC BUTTON	Engages the beat synchronisation based on the tempo of the opposite deck in ITCH. Check ITCH manual for more details on this function.
15	CROSSFADER	Crossfades the sound between Deck A and Deck B. Curve can be adjusted by C.F Curve rotary.
16	INPUT FADER	Adjusts the sound volume of each channel.
17	LED METER	Indicates the Audio Level for each channel or for Master. When CUE A or CUE B is activate, the LED Meter shows input level (Pre Fader, Post EQ for A and B channels. When CUE A / CUE B is disable, the LED Meter shows the Master Level.
18	MASTER LEVEL	Adjusts the Master Output audio level. Sound can be distorted if both Master Level and channels level are set too high.
19	CHANNEL TRIM	Each Trim rotary adjusts the sensitivity of corresponding channel. It allows to attenuate too high levels or to compensate too low level, in order to match the other channel level.
20	CHANNEL EQ	3 bands frequency Equalizer / Isolator. Adjust the channel tune or allows to create creative sounds effects. To set all Eq knob to Max position may overload the sound level.
21	MIXER MODE SELECTOR	On PC position, the corresponding channel will play the sound from the software. On Mixer position, the corresponding channel will play and control the sound from external source (CD player, Turntable, Mp3 player...).
22	BROWSING AREA	Navigates in the ITCH library. Check ITCH manual for more details on this function.
23	CUE SELECTOR AREA	Push A or B to send the corresponding channel audio signal through the headphone. Pushing Jog Scroll + Cue A or Cue B will load a track from the library onto the corresponding channel. To push Jog Scroll On will allow to scroll up / down in the Itch Library with using jogwheels. Check Itch manual for more details on this function.
24	TOUCH SENSOR ADJUSTMENT	Each Jogwheel touch-sensitivity can be adjusted to the user's preference. To turn clockwise will increase the sensibility; anticlockwise will reduce it. When sensitivity is set at maximum position, the jogwheel behaves as if touch sensor was constantly ON, which results to a playback stop. On the minimum position, the jogwheel will not detect any pressure of the hand on the jogwheel surface, so scratch becomes non operational.
25	CROSSFADER CURVE ADJUST	Adjusts the crossfader blend type through the decks.
26	INPUT FADER CURVE ADJUST	Adjusts the input fader progression curve. Extreme position creates very sharp curves, middle position is very smooth and progressive.
27	CUE MIX ADJUSTMENT	This controls adjusts the balance between the master output (maximum position) and the Cue output (minimum position). Allows to pre-blend a mix by the headphone.
28	HEADPHONE OUTPUT LEVEL	Sets the level of Headphones. Listening to headphones too loud even for a short period, can cause irreversible damages to the user's ears.
29	HEADPHONE JACK CONNECTORS	Two types of headphone jacks are available: 3/4 inch and 1/4 inch.
30	MIC 1 INPUT TERMINAL	Connect here Mic 1 cable with XLR connector.
31	MIC 2 INPUT TERMINAL	Connect here Mic 2 cable with 3/4 inch Jack connector.
32	MIC 1/2 LEVEL	Adjusts the audio level of Mic 1/2; signal is routed directly to master without latency.
33	INPUT A/B RCA TERMINAL	Connect here the external source for Channel A/B.
34	PHONO / LINE SWITCH	Selects the pre-amp type depending on what type of player is connected.
35	INPUT A/B PRE-TRIM	Adjusts the sensitivity of the pre-amp, depending of what type of external source is connected. Once the sensitivity is set to the appropriate level, use Trim to adjust the level during your performance.
36	GROUND TERMINAL	Connect here the Ground (GND) cables from your turntables.
37	BOOTH OUTPUT (UNBALANCED - RCA)	Connect here an additional amplifier or powered speakers.
38	BOOTH OUTPUT LEVEL	Adjusts the output volume for the Booth output.
39	MASTER OUTPUT (BALANCED - XLR)	Connect here the main amplifier or the main powered speakers.
40	POWER TERMINAL	Connect the included SDC-7 (DC7.5V 1000mA) power adaptor to this socket.
41	POWER ON/OFF	Set this switch to ON position.
42	USB TERMINAL	Connect here the USB cable.
43	KENSINGTON LOCK	You can protect your VCI-380 from theft by attaching a Kensington lock to this slot.

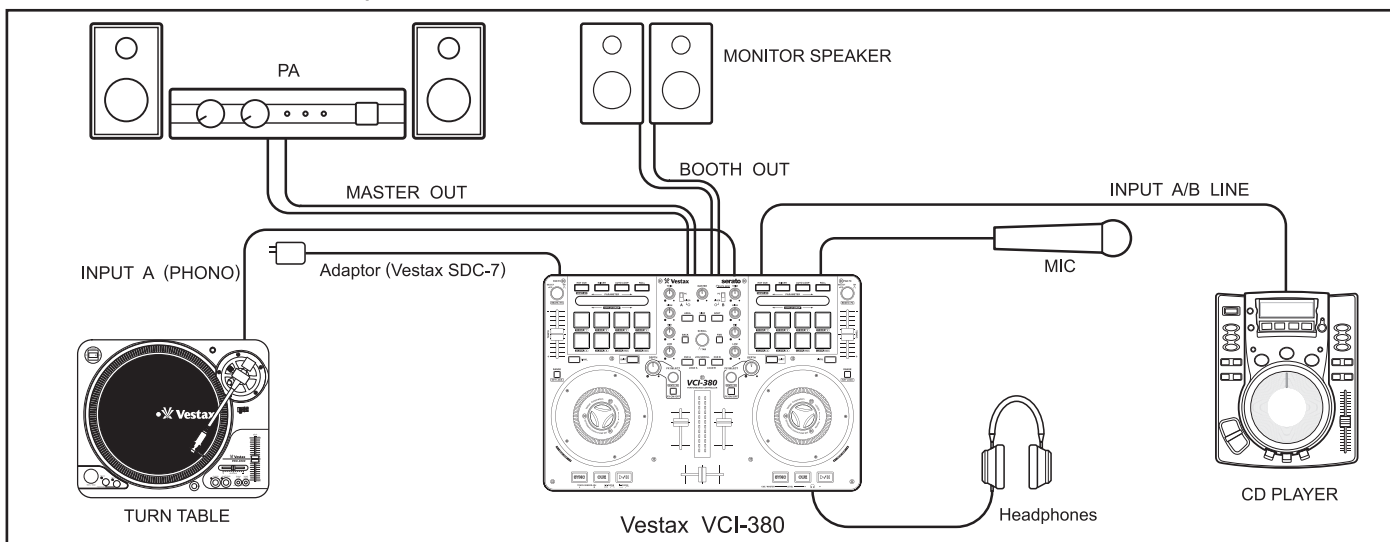
SETTING UP THE VCI-380

A. HARDWARE SETUP EXAMPLE

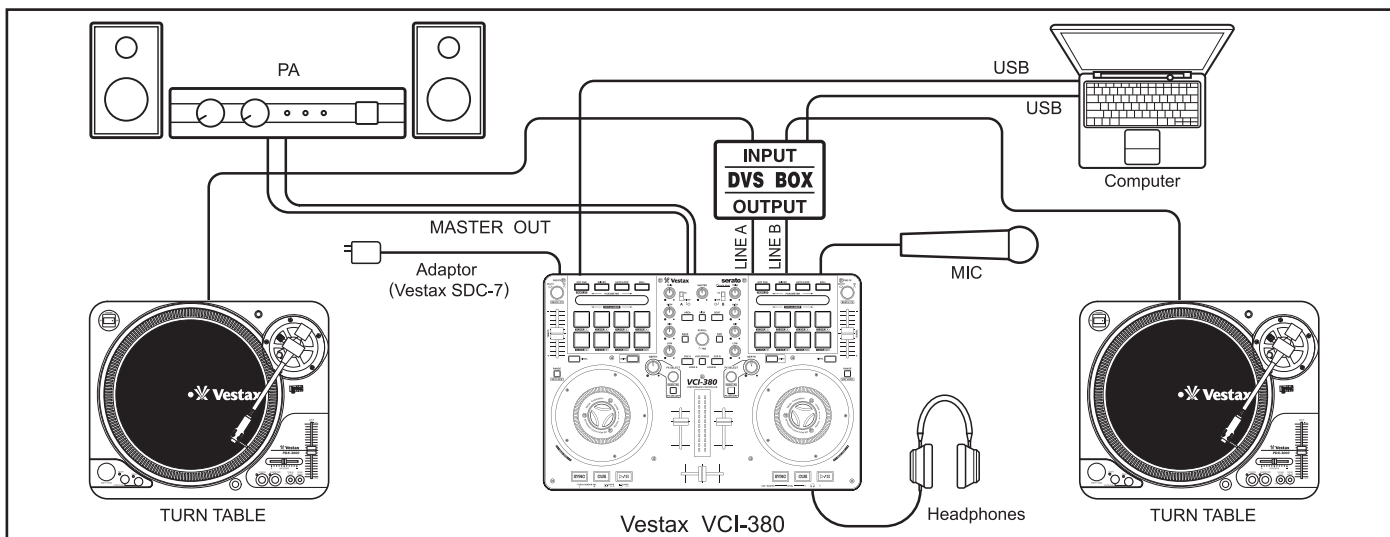
(1) Controller style



(2) Stand alone mixer style



(3) DVS style (example Serato Scratch Live, Native Instruments Traktor scratch)



- Make sure to adjust the touch sensitivity of each JOG wheel before using the VCI-380

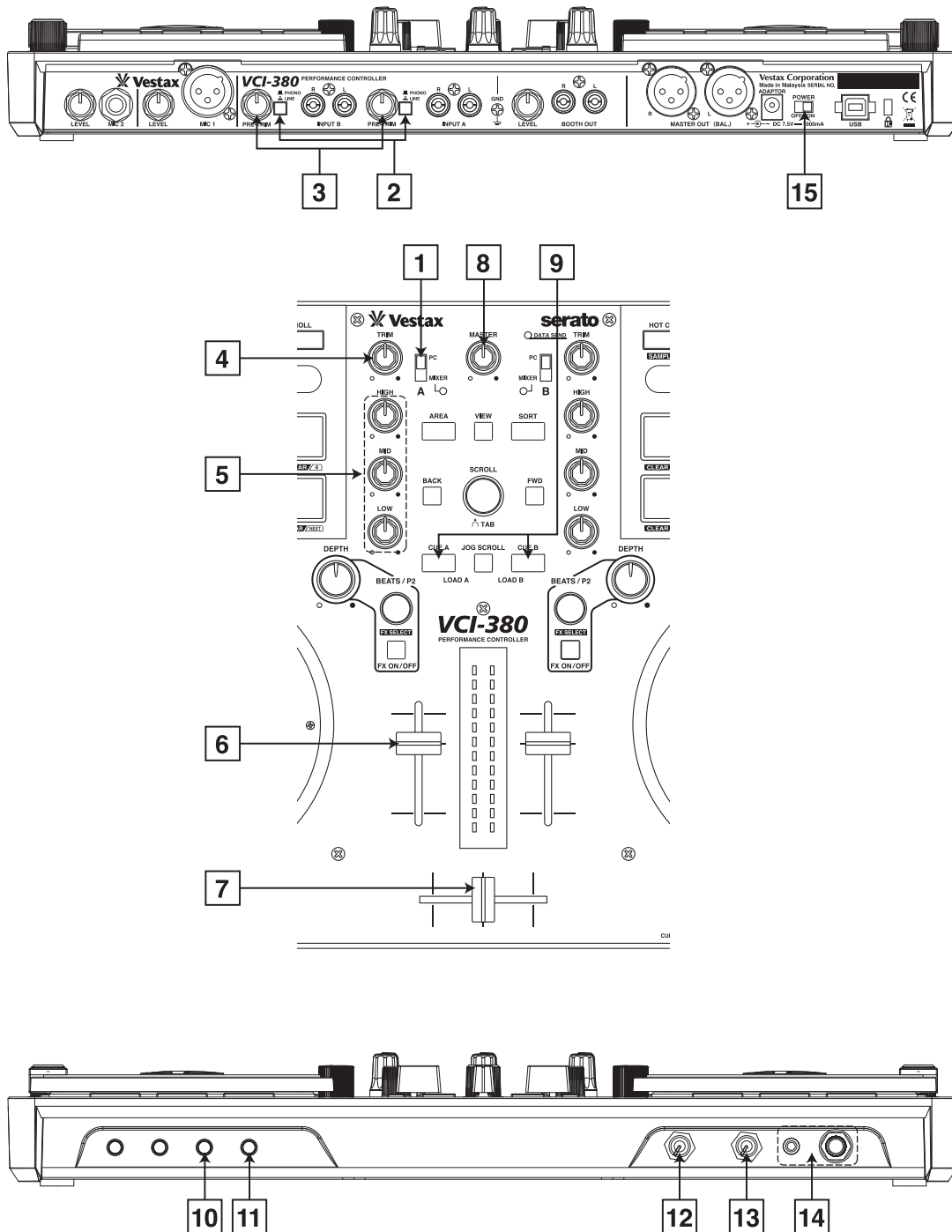
The two rotary knobs located on the left side of the front panel control the touch sensitivity of each JOG wheel. The left rotary knob controls the left JOG wheel and the right knob controls the right JOG wheel. Turn anti-clockwise to increase and turn clockwise to decrease the touch sensitivity.

The JOG wheels have an LED that lights up when the VCI-380 is powered. The LED is blue on standby (when you're not touching the plate) and turns red when you touch the plate. If the LED is red when you are not touching the plate (this means the level is too high), adjust the sensitivity level to where the LED turns blue.

※ Make sure to adjust each JOG wheel separately. The sensitivity can change under different electrical environments. It is recommended to readjust the sensitivity when changing power sockets or when using the VCI-380 in a new environment.

B. STAND ALONE MIXER

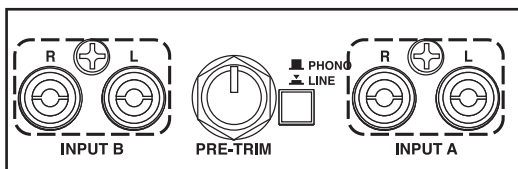
1. FUNCTIONS



No.	Control Name	Function
1	CHANNEL MODE SELECT SWITCH	This switch will set the Audio mode of the corresponding channel. When Set on PC, audio comes from Itch software. When set on MIXER, audio comes from external source (CD player, MP3 player, Turntable)
2	PHONO / LINE SWITCH	Selects the pre-amp type depending on what type of player is connected.
3	INPUT A/B PRE-TRIM	Adjusts the sensitivity of the pre-amp, depending of what type of external source is connected. Once the sensitivity is set to the appropriate level, use Trim to adjust the level during your performance.
4	TRIM	Adjusts the input sound volume of the corresponding channel.
5	CHANNEL EQ	3 bands frequency Equalizer / Isolator. Adjust the channel tune or allows to create creative sounds effects. To set all Eq knob to Max position may overload the sound level.
6	INPUT FADER	Adjusts the sound volume of each channel/deck.
7	CROSS FADER	Crossfades the output sound between two selected decks. (A & B)
8	MASTER LEVEL	Adjusts the master output level.
9	MONITOR CUE BUTTON	Push A or B to send the corresponding channel audio signal through the headphone.
10	CF CURVE	You can adjust how the crossfader blends between decks, Turn it around to find your point of preference.
11	IF CURVE	You can adjust how the inputfader blends, Turn it around to find your point of preference.
12	CUE MIX ADJUSTMENT	Control knob to adjust the headphone monitor mix balance between master output and monitor output. You can push the knob in so it doesn't get in your way.
13	HEADPHONE OUTPUT LEVEL	Control knob to adjust the headphone volume. You can push the knob in so it doesn't get in your way.
14	HEADPHONE OUTPUT	Headphone connection, Connect your headphones to this socket.
15	POWER ON/OFF	Set this switch to ON position.

2.HOW TO USE

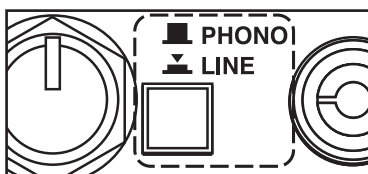
(1) Connect to INPUT A or INPUT B the external devices such as turntables, CD players, etc.



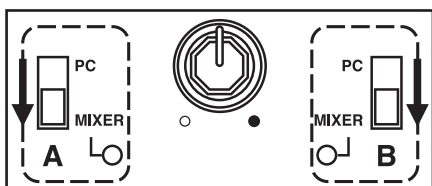
(2) Choose the kind of device inputted by "PHONO / LINE SWITCH".

PHONO (Such as turntables) : switch OFF

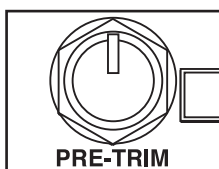
LINE (Such as CD player) : switch ON



(3) Set the power switch to ON position. And switch "MIXER MODE SELECTOR" to "MIXER".



(4) Adjust the input level by "INPUT A/B PRE-TRIM" knob.

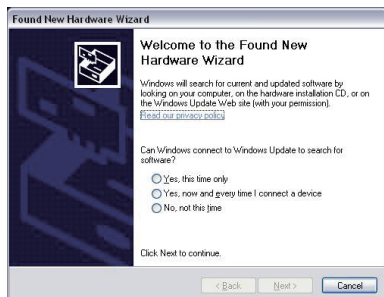


C. DRIVER INSTALLATION

NOTE FOR WINDOWS ONLY. Macintosh computers do not require driver installation

Disable anti-virus software during the installation.

The following message may appear when connecting the VCI-380 for the first time, during, or after the driver installation, determined by the specifications of your computer. Choose "Yes, this time only" and click NEXT.



How to install the driver

1. Connect the VCI-380 to the computer and turn ON the power switch.
 - Connect the included power adaptor (SDC-7) to the power socket located on the rear panel of the VCI-380.
 - Connect the VCI-380 to your computer with a USB cable.
 - Set the power switch of the VCI-380 to ON.

2. Insert the included VESTAX DRIVER CD-ROM to your computer. Double click "Vestax VCI-380 Audio Driver.exe" to start the installation.



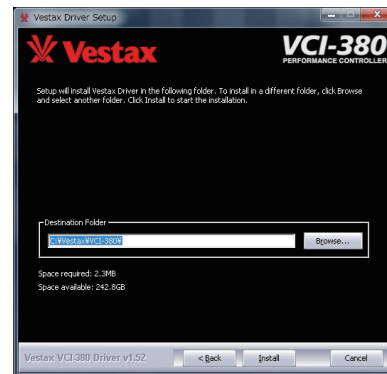
3. Click Next



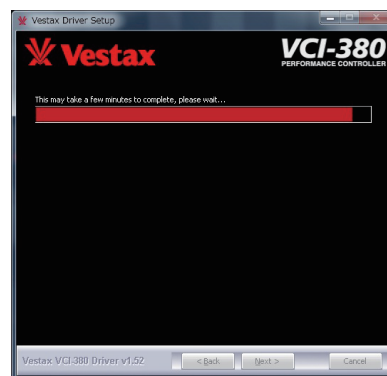
4. The license agreement page will appear, click "I Agree".



5. The ASIO driver will be installed to a default location on your computer. Click Next. (or "Browse" if you want to change the location)



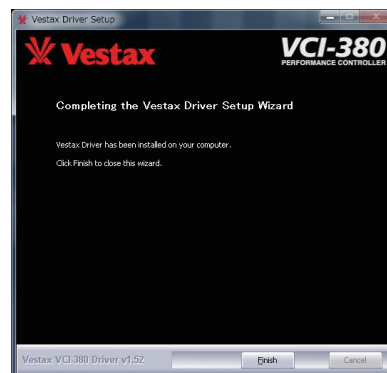
6. Driver installation will begin. (This may take some time.)



NOTE : In the case of Windows XP, the following windows may be displayed in order. Should click "Continue Anyway".



7. Once installation has completed, click "Finish".



8. Reboot the VCI-380 and check the device is recognised by the computer. (Please refer to "D. CONNECTING THE VCI-380 TO A COMPUTER".)

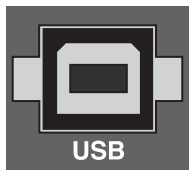
D. CONNECTING THE VCI-380 TO A COMPUTER

- Make sure to connect the included power adaptor (SDC-7) when using the VCI-380.
- ※ The VCI-380 does not operate with only USB bus power.

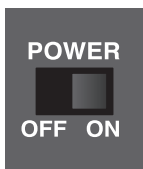
1. Connect the power adaptor to the power socket located on the rear panel of the VCI-380.



2. Connect the VCI-380 to your computer with a USB cable.



3. Set the power switch of the VCI-380 to ON. The power LED on the top panel will light up and indicate that the VCI-380 is powered.

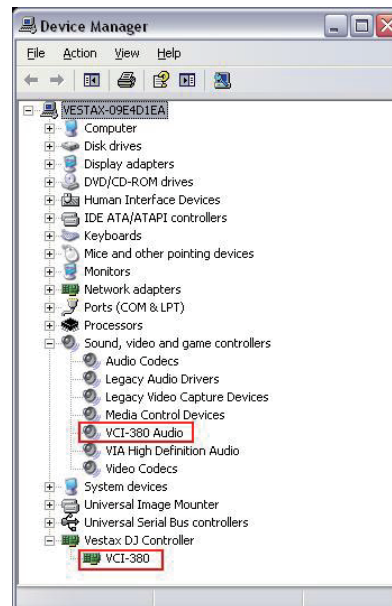


- ※ 1) Make sure to power the VCI-380 on before starting the software.

E. HOW TO CHECK DEVICE RECOGNITION ON YOUR COMPUTER

■ Windows

- Go to "Control Panel" > "Device Manager"
- Check whether the following devices recognised.
- "Sound, video and game controllers" / "VCI-380 Audio"
- "Vestax DJ Controller" / "VCI-380"



■ Macintosh

- Open "Finder". Go to "Applications" > "Utilities" > "Audio MIDI setup"
- The VCI-380 will appear in the device list. Click the VCI-380 icon to see its status.

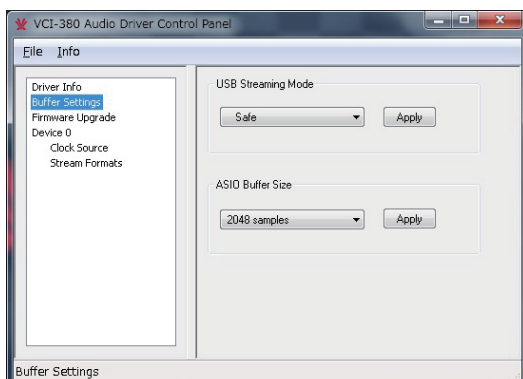
【Supplemental information of the VCI-380 ASIO driver control panel】

The Vestax ASIO driver will automatically create a driver control panel for the VCI-380 in your computer when installation is completed.

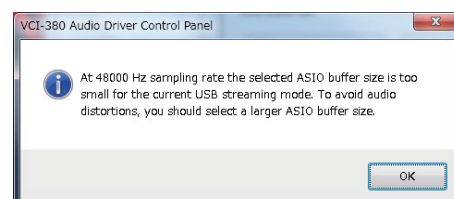
"Start" > "Programs" > "Vestax" > "VCI-380" > "VCI-380 Control Panel"

※ The VCI-380 control panel can also be launched from your Windows task bar.

■ Precautions for Buffer Settings



- Quit all applications when changing the USB Streaming Mode
- The message below may appear when changing the ASIO Buffer Size. This means the buffer size is set too small for the sample rate, USB streaming mode and your computers specifications. Select a larger ASIO Buffer Size or larger USB streaming mode to avoid distortions.
- ※ Minimum Latency < Low Latency < Standard < Relaxed < Safe < Extra



TROUBLE SHOOTING

Problem	Possible solutions
The power does not turn ON	Check the connection of the bundled power adaptor. (If you are using an extension cable, make sure it's connected to the power socket)
	Check if the power switch is turned ON
	Check if the USB cable is connected correctly
	If you are using a USB hub, try connecting directly to your computer
My computer doesn't recognize my controller	Check if your computer fulfills the minimum system requirements
	Connect the USB cable to another USB port. (Certain USB ports may have connection errors)
	If you are using a USB hub, try connecting directly to your computer. Also try connecting to all USB ports.
	Try changing the USB cable. Using a faulty USB cable can cause communication errors.
	Start the software after connecting the VCI-380 and turning the power ON. (Orders of starting the software can affect USB recognition)
	Quit all other running applications including anti-virus software and resident software. Also turn off WiFi and Bluetooth connection.
	Drivers of web cameras, game controllers and other devices can affect your computer recognizing the VCI-380. Stop or delete such drivers
	Clean up your MIDI driver registry. This can be tricky and we strongly recommend referring to the Microsoft support page before editing or deleting anything.
	Check if the bundled audio driver is installed to your computer (Windows only. Macintosh computers do not require driver installation)
The JOG wheels do not operate	The sensor settings can possibly be to low. Adjust the sensor knobs located on the front panel of the VCI-380. (The adjustment point can differ between the left and right JOG wheel)
The DATA SEND LED does not turn on	The power may not be turned on. Check if the power switch is set to ON.
	The VCI-380 may not be sending MIDI signals correctly. Please contact Vestax customer support.
My controller does not sync with the software	Check the MIDI setup and Audio setup of the software
	Try all USB ports on your computer. Some computers may have USB ports with different connection status.
	The VCI-380 may fail to sync with your computer if it does not fulfill the minimum system requirement. Please check if your computer fulfills the minimum system requirement of the VCI-380 and the software.
There's no sound	Check if all volume controls are turned up. (Input faders, TRIM, MASTER) Also check the volume settings of your stereo and speakers
	Check if MASTER OUT is connected to your stereo or speakers.
	Check if the bundled audio driver is installed to your computer. (Windows only. Macintosh computers do not require driver installation)
	The sensor settings can possibly be to high. Adjust the sensor knobs located on the front panel of the VCI-380. (The adjustment point can differ between the left and right JOG wheel)
I can't hear anything from my headphones	Check if the HEADPHONE LEVEL knob located on the front panel is turned up. Also check if the monitor cue buttons (buttons with headphone marks above each input fader) on the top panel are selected.
	Check the audio setting of the software. If the software has monitor control, see if the level is turned up.
There's a noise in the sound	Increasing the software buffer size can improve sound quality.
	Check if the included audio driver for VCI-380 is installed. (Noises can be caused if the audio driver is not installed correctly)
	Check if your computer fulfills the minimum system requirement of the VCI-380 and software. Noises can be caused due to poor computer performance.
	Check if the virtual audio output of your software is not overloaded. If so, decrease TRIM and Master out from the controller.
I can't install the included audio driver	Installation may fail when other applications are running. Please close all running applications.
	If you have an anti virus software installed to your computer, turn it off during the installation.
	Check if you're logged in as Administrator.
The crossfader doesn't cut	The crossfader function can be disabled. Please check the software setup.
The sound change is too sudden when moving the crossfader	Adjusting the C.F. CURVE knob located on the front panel will change the sound transition curve of the crossfader.
On Mixer Mode, the sound is distorted or too low	Adjust the INPUT A/B PRE-TRIM depending on the output level of your playing deck. Make sure that the PHONO / LINE SWITCH is set on the correct position.
I can not get FX on Mixer Mode	FX are only operational on PC Mode.

- ※1) The VCI-380 does not support computers that do not meet required minimum system specifications.
- ※2) Here's a few tips to enable stable operation with your computer and the VCI-380.
 - Quit all other applications
 - Quit all resident software (such like virus busters)
 - Turn WiFi off
 - Stop drivers of other devices
- ※3) If you are experiencing any problems not mentioned above, visit www.help.vestax.co.jp/en/ for latest support information.

SPECIFICATIONS

Analog audio

LINE INPUT A/B	Unbalanced, Stereo, RCA connector x2
Input impedance	: 56k ohms
Nominal input level	: -10dBV
PHONO INPUT A/B	Unbalanced, Stereo, RCA connector x2
Input impedance	: 56k ohms
Nominal input level	: -45dBV
MIC Input 1	Balanced, XLR type connector (Female, 1.GND, 2.Hot, 3.Cold) x 1
MIC Input 2	Balanced, 1/4 inch Phone connector x1
Load impedance	: 5k ohms
Nominal output level	: -50dBV – -20dBV
MASTER OUTPUT	Balanced, XLR type connector (Male, 1.GND, 2.Hot, 3.Cold) x 2
Load impedance	: 10k ohms or more
Nominal output level	: +0dBV
Maximum output level	: +10dBV (at MIXER mode) (on playback of 1kHz, 0dB normalized signal : +5dBV)
BOOTH OUTPUT	Unbalanced, Stereo, RCA connector x1
Load impedance	: 10k ohms or more
Nominal output level	: +0dBV
Maximum output level	: +10dBV (at MIXER mode) (on playback of 1kHz, 0dB normalized signal : +5dBV)
HEADPHONES OUTPUT	1/4 inch Stereo Phone connector x1, 3.5mm Stereo mini connector x1
Load impedance	: 47 ohms
Nominal output level	: 60mW + 60mW

Digital audio

AD/DA converter	
Bit depth	: 24bit
Sampling frequency	: 48kHz Min
USB I/O	: USB 2.0, 4channel audio I/O, MIDI control I/O B type connector (Female)
USB Audio Class	: UAC 2.0

Overall performance

Frequency response	: 20Hz to 20kHz (+0/-0.5dB)
SN	: 80dB (A -WTD) or better
THD	: less than 0.05%

Other

Power supply	: 7.5VDC (Vestax SDC-7 AC-DC adaptor)
Power consumption	: 6W (100V - 230VAC)
Dimensions	: 427(W) x 290(D) x 40(H)mm (without knobs) 427(W) x 304(D) x 60(H)mm (including knobs)
Weight	: 3.5kg

MIDI MAP

SWITCH									
Control	Note Number	Note Name	MIDI Channel		Control	Note Number	Note Name	MIDI Channel	
			DECK-A	DECK-B				DECK-A	DECK-B
HOT CUE	56	G# 3	Ch 8	Ch 9	VINYL	26	D 1	Ch 8	Ch 9
SLICER	57	A 3	Ch 8	Ch 9	SHIFT	12	C 0	Ch 8	Ch 9
AUTO LOOP	58	A# 3	Ch 8	Ch 9	RANGE	27	D# 1	Ch 8	Ch 9
ROLL	59	B 3	Ch 8	Ch 9	KEY LOCK (RANGE + SHIFT)	27	D# 1	Ch 10	Ch 11
SAMPLER (HOT CUE + SHIFT)	56	G# 3	Ch 10	Ch 11	PLATTER TOUCH	68	G# 4	Ch 8	Ch 9
PAD FX KNOB (PUSH)	29	F 1	Ch 8	Ch 9	BEAT SKIP (PLATTER TOUCH + SHIFT)	68	G# 4	Ch 10	Ch 11
PAFORMANCE PAD 1	60	C 4	Ch 8	Ch 9	SYNC	19	G 0	Ch 8	Ch 9
PAFORMANCE PAD 2	61	C# 4	Ch 8	Ch 9	CUE	22	A# 0	Ch 8	Ch 9
PAFORMANCE PAD 3	62	D 4	Ch 8	Ch 9	PLAY/PAUSE	23	B 0	Ch 8	Ch 9
PAFORMANCE PAD 4	63	D# 4	Ch 8	Ch 9	FX ON/OFF	28	E 1	Ch 8	Ch 9
PAFORMANCE PAD 5	64	E 4	Ch 8	Ch 9	FX SELECT KNOB (PUSH)	6	F# -1	Ch 8	Ch 9
PAFORMANCE PAD 6	65	F 4	Ch 8	Ch 9	AREA	80	G# 5	Ch 8	
PAFORMANCE PAD 7	66	F# 4	Ch 8	Ch 9	VIEW	81	A 5	Ch 8	
PAFORMANCE PAD 8	67	G 4	Ch 8	Ch 9	SORT	82	A# 5	Ch 8	
PAFORMANCE PAD 1 CLEAR (with SHIFT)	60	C 4	Ch 10	Ch 11	BACK	83	B 5	Ch 8	
PAFORMANCE PAD 2 CLEAR (with SHIFT)	61	C# 4	Ch 10	Ch 11	SCROLL KNOB (PUSH)	84	C 6	Ch 8	
PAFORMANCE PAD 3 CLEAR (with SHIFT)	62	D 4	Ch 10	Ch 11	FWD	79	G 5	Ch 8	
PAFORMANCE PAD 4 CLEAR (with SHIFT)	63	D# 4	Ch 10	Ch 11	JOG SCROLL	9	A -1	Ch 8	
PAFORMANCE PAD 5 CLEAR (with SHIFT)	64	E 4	Ch 10	Ch 11	CUE A/B *toggle	10	A# -1	Ch 8	Ch 9
PAFORMANCE PAD 6 CLEAR (with SHIFT)	65	F 4	Ch 10	Ch 11	LOAD A/B (JOG SCROLL + CUE A/B)	10	A# -1	Ch 10	Ch 11
PAFORMANCE PAD 7 CLEAR (with SHIFT)	66	F# 4	Ch 10	Ch 11	INPUT SWITCH (switch to INPUT 1/2)	11	B -1	Ch 8	Ch 9
PAFORMANCE PAD 8 CLEAR (with SHIFT)	67	G 4	Ch 10	Ch 11					
VOLUME									
PARAMETER (PAD FX ON)	CC55		Ch 8	Ch 9	CROSS FADER	CC8		Ch 8	
PARAMETER (HOT CUE)	CC56		Ch 8	Ch 9	TRIM	CC9		Ch 8	Ch 9
PARAMETER (SLICER)	CC58		Ch 8	Ch 9	EQ HIGH	CC72		Ch 8	Ch 9
PARAMETER (AUTO LOOP)	CC59		Ch 8	Ch 9	EQ MID	CC71		Ch 8	Ch 9
PARAMETER (ROLL)	CC57		Ch 8	Ch 9	EQ LOW	CC70		Ch 8	Ch 9
PARAMETER (SAMPLER)	CC60		Ch 8	Ch 9	DEPTH	CC10		Ch 8	Ch 9
STYLUS DROP (PARAMETER + SHIFT)	CC61		Ch 8	Ch 9	C.F.CURVE	CC86		Ch 8	
TEMPO (1st 14bit)	CC45		Ch 8	Ch 9	I.F.CURVE	CC87		Ch 8	
TEMPO (2nd 14bit)	CC13		Ch 8	Ch 9	CUE / MASTER	CC88		Ch 8	
INPUT FADER	CC7		Ch 8	Ch 9	PAFORMANCE PAD AFTER TOUCH	CC91		Ch 8	Ch 9
ENCODER									
PAD FX SELECT	CC14		Ch 8	Ch 9	FX SELECT	CC6		Ch 8	Ch 9
BEATS / P2 (PAD FX + SHIFT)	CC14		Ch 10	Ch 11	BEATS / P2 (FX SELECT + SHIFT)	CC6		Ch 10	Ch 11
JOG WHEEL	CC69		Ch 8	Ch 9	SCROLL	CC85		Ch 8	
BEAT SKIP (JOG WHEEL + SHIFT)	CC69		Ch 10	Ch 11					
LED (RECEIVE)									
SHIFT LED	12	C 0	Ch 8	Ch 9	PAFORMANCE PAD 5 LED	64	E 4	Ch 8	Ch 9
SYNC LED	19	G 0	Ch 8	Ch 9	PAFORMANCE PAD 6 LED	65	F 4	Ch 8	Ch 9
CUE LED	22	A# 0	Ch 8	Ch 9	PAFORMANCE PAD 7 LED	66	F# 4	Ch 8	Ch 9
PLAY/PAUSE LED	23	B 0	Ch 8	Ch 9	PAFORMANCE PAD 8 LED	67	G 4	Ch 8	Ch 9
VINYL LED	26	D 1	Ch 8	Ch 9	AREA LED	80	G# 5	Ch 8	
RANGE LED	27	D# 1	Ch 8	Ch 9	VIEW LED	81	A 5	Ch 8	
PAFORMANCE PAD 1 LED	60	C 4	Ch 8	Ch 9	SORT LED	82	A# 5	Ch 8	
PAFORMANCE PAD 2 LED	61	C# 4	Ch 8	Ch 9	BACK LED	83	B 5	Ch 8	
PAFORMANCE PAD 3 LED	62	D 4	Ch 8	Ch 9	FWD LED	79	G 5	Ch 8	
PAFORMANCE PAD 4 LED	63	D# 4	Ch 8	Ch 9					